2024.12
関西大学科学技術振興会　会報誌

# WHAT'S NEW FROM ASCIKU

NO.81

## 2024年度第4回研究会を開催！11月22日（金）

2024年度第4回研究会は、気持ちのよい秋晴れの中、関西大学千里山キャンパス校友父母会館にて、総勢26名の方にご出席いただきました。

各講演の後に行われた質疑応答では皆様より積極的な質問などがあり、会場は大いに盛り上がりました。アンケートの結果も参加者全員から「大変参考になった」「参考になった」とのご回答いただきました。

## LECTURE 01 三和パッキング工業株式会社様 事業紹介

顧問　秋本一世 氏

会員企業様の事業紹介では、三和パッキング工業株式会社の顧問 秋本一世様に新規ビジネスへの挑戦、信頼獲得、常識破りのチャレンジ等をお話しいただきました。

同社は、1945年に自動車用ガスケットの製造を開始して以来、独自の技術の開発を積極的に推進、特に金属加工技術・コーティング技術をベースに多彩な金属加工品を生み出し、大手自動車メーカーTier1であるほか、軽自動車においては8割に搭載と国内シェアNo.1です。

ガスケット・ヒートインシュレーターなどのシーリングの開発の中で、今回は、エンジン排熱から他部品を守るヒートインシュレーターの開発についてご説明いただきました。

戦後に従来のボンネット型車構造とは一線を画し、エンジン搭載位置が座席下に入ることになり、インシュレーターの開発に不退転の覚悟をもって本格的に着手。第一次排ガス規制（マスキー法）により自動車メーカーに窒素酸化物（NOx）排出量の削減が義務化され、触媒の動作環境という観点からも遮熱需要が拡大。各社が競争、増産の時代に入る中、工程数の大幅削減に成功し、優位性を堅持。さらにエンジンの進化によりヒートインシュレーターに熱クラックが入るようになると、クラック対策には軽量化が絶対的に必要と、従来の常識を破りアルミ材料を用いた薄板化の研究を開始し、高温状況下での使用と複雑な形状加工を可能とするほか、遮熱性の向上、3-5dBの騒音低減を達成する部品を完成。

しかし、自動車メーカーの信頼を得るためにはここからの努力が必要であり、CAE（伝熱解析、しぼり成型解析、振動解析）の他、実機測定技術を開発し、理論的な裏付けを説明する一方で、車両を無響室に持ち込んだ試験やテスト走行を重ねたことなどを詳説していただきました。

さらなる展開として、【All for future!!】と、海外自動車メーカーや、スーパーカー、レースカーへの参入を目指しておられます。

締めくくりにご紹介された『ねばり強くお客様の話を聞いて自分たちで努力する』という言葉には、熱い魂を感じました。

## LECTURE 02 関西大学理工系学生の就職状況について

### 関西大学キャリアセンター事務局 次長 伊藤 邦典 氏

関西大学理工系学生の最近の就職状況ならびに就活スケジュールについて、関西大学キャリアセンター事務局の伊藤邦典次長からご紹介いただきました。

近年、企業の理工系人材の採用意欲は高く、2025年春入社の新卒採用計画調査によると前年度比21%を超える増加が見られました。そのような中、2023年度の関西大学理工系学部卒は就職率99.3%、理工系大学院修了で100%の就職率となったそうです。その就職先は5割以上製造業や情報通信業が占めており、就職先の規模としては7割以上が従業員数500名以上の巨大企業もしくは大企業となっているとの事でした。大学院修了の学生に対しては、その割合が特に高くなっています。

採用スケジュール的には、原則として、企業の採用広報活動は卒業もしくは修了前年度の3月、選考開始は6月からとなっていますが、これらは形骸化しており、実際には就職活動の早期化が進んでいます。特に、企業のインターンシップ制度利用が主流となっており、9割程度の学生がインターンシップへの参加により、就職先を選定しています。参加時期としては卒業・修了の前年度の8〜9月の夏季休暇中が最も多くなっているとの事でした。関西大学キャリアセンターとしては、各学部のキャリアセンター主事と協力しながら、学生にはKICSS（関西大学インターネットキャリア支援システム）を利用した支援体制を整えておられます。

現状の説明の後、Q/Aセッションが設けられましたが、参加者が会社の経営者の方が多いためか、学生の採用に日頃から問題意識を持っておられ、たくさん多くの質問・御意見がありました。

例えば、採用内定者からの内定辞退を留めるのにはどの様な対策を取ったら良いのかという質問に対して、内定者への定期的なフォローを行う事がポイントであるとの事でした。中小企業をはじめ、BtoB型企業にとって、会社名はもとより、会社事業内容、グローバルニッチ技術の魅力を如何に学生側に伝えるかが重要なポイントであると考え、その為に、インターンシップ制度活用や大学周辺地域での会社の宣伝広告などによる知名度の向上は重要であると思われるとの事でした。さらに、学生が就職先を選定する条件としては、初任給、勤務地や労働条件（休暇日数）などが重要で、企業側としてはその辺りの魅力を如何に学生にアピールするかの検討も必要あるとの事でした。

ご案内

## 第5回研究会 開催のご案内 2025年1月23日（木）・24（金）

### 第29回先端科学技術シンポジウムでのパネル展示のお知らせ

先端科学技術推進機構が1年間の研究成果を広くアピールする「第29回先端科学技術シンポジウム」が今年も2025年1月23日（木）・24日（金）に開催されます。

振興会は2024年度第5回研究会として、1年間の活動を取りまとめ、パネル展示にて参加いたします。

先端科学技術推進機構の研究員である先生方による研究成果に触れる絶好の機会でもありますので、会員の皆様におかれましては、ぜひ、ご来場いただきますようお願い申し上げます。

（シンポジウムの概要につきましては以下および同封の速報チラシをご覧ください。）

お申込方法、各セッションの詳細につきましては、
シンポジウム特設サイトをご覧ください！

お申込み・詳細はコチラにアクセス ▶